

2016年2月3日
日本銀行長崎支店



Bank of Japan Nagasaki Branch

長崎県の金融経済概況

(2016年1月)

【概況】

長崎県の景気は、全体として緩やかな回復基調を続けている。

最終需要面をみると、公共投資は、振れを伴いつつも弱い動きとなっている。設備投資は、増加している。個人消費は、天候による影響がみられるものの、全体として底堅く推移している。観光関連は、好調に推移している。住宅投資は、持ち直しつつある。

生産は、全体として持ち直しているが、一部に弱めの動きがみられている。また、雇用・所得環境をみると、労働需給は緩やかな改善が続いており、人手不足感が強まっている。雇用者所得は持ち直している。消費者物価は、前年比+0%台半ばで推移している。

この間、中小企業の景況感は、弱めの動きとなっている。

【本件に関する問い合わせ先】

日本銀行長崎支店総務課

850-8645 長崎市炉粕町32番地

TEL : 095-820-6110 FAX : 095-820-0299

本資料は当店ホームページ (<http://www3.boj.or.jp/nagasaki/>) にも掲載しています。

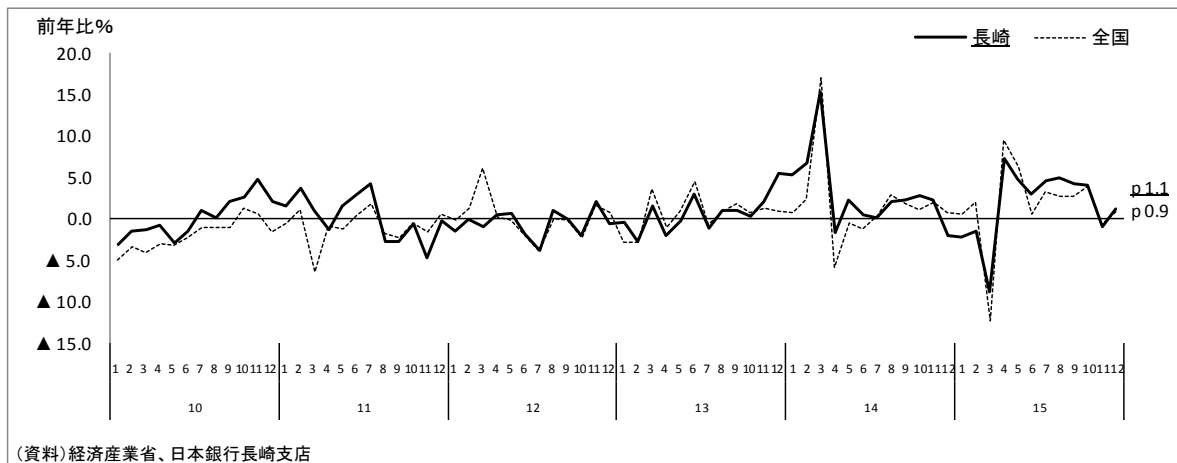
1. 経済動向

(1) 個人消費

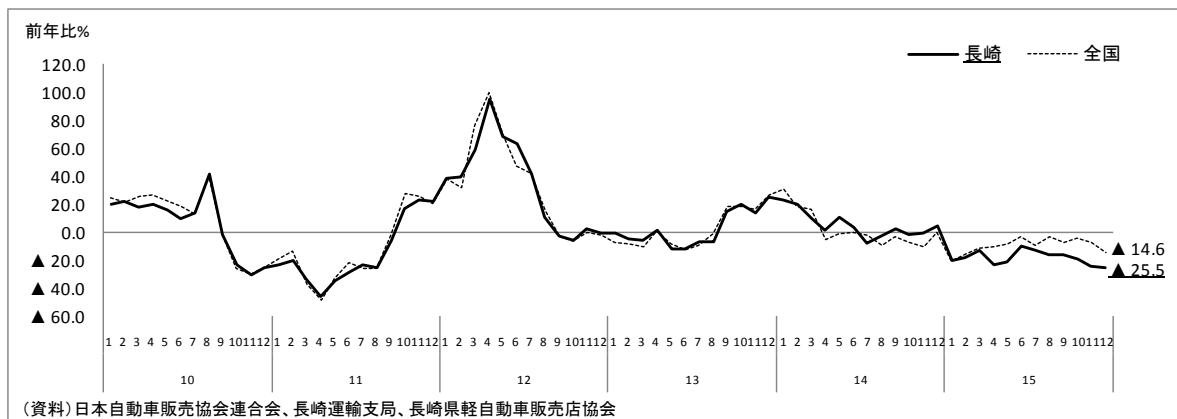
個人消費は、天候による影響がみられるものの、全体として底堅く推移している。

主要小売店売上高(12月)は、ショッピングセンターでは暖冬の影響で衣料品を中心に前年を下回ったものの、家電、スーパー等で前年を上回り、全体では増加した。乗用車の新車登録台数(同)は、軽乗用車を中心に減少した。旅行取扱高(同)は、海外旅行は弱めの動きとなっている一方、国内旅行は堅調に推移している。

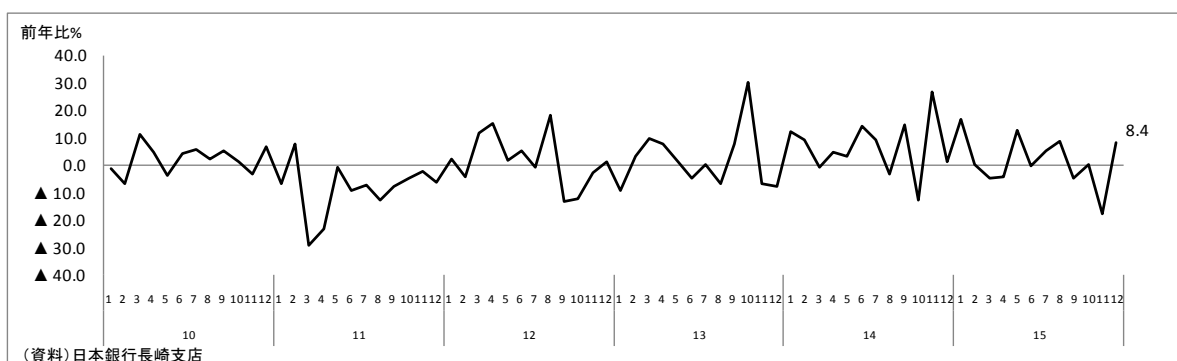
【主要小売店売上高】



【乗用車新車登録台数】



【旅行取扱高】

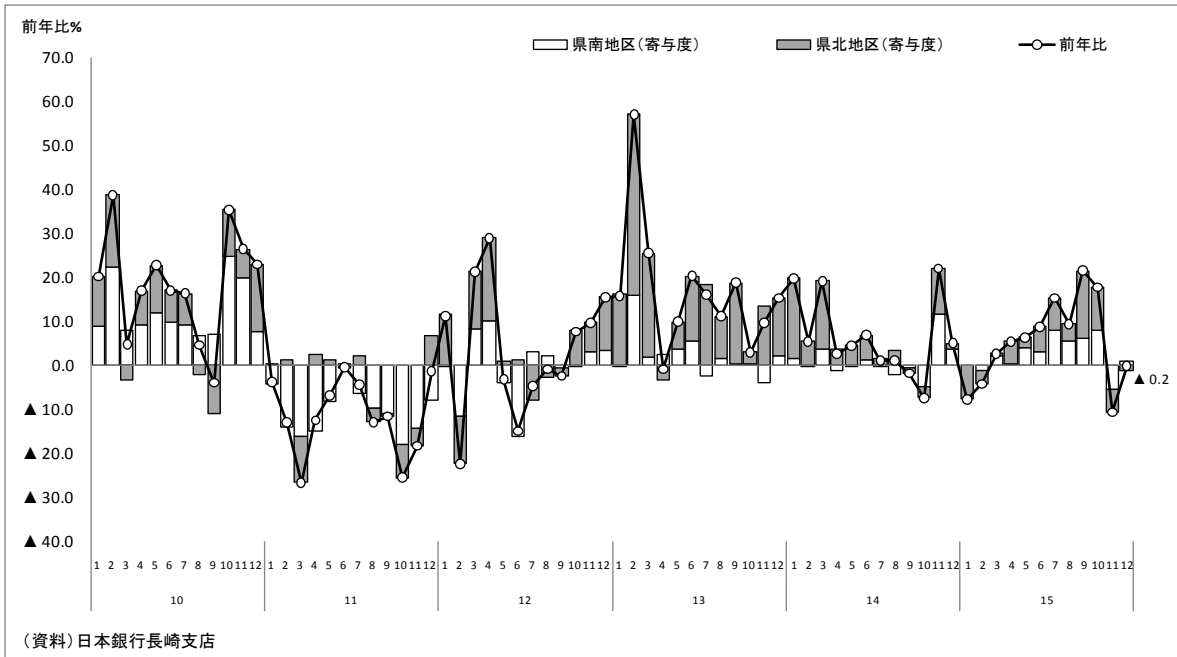


(2) 観光

観光関連は、好調に推移している。

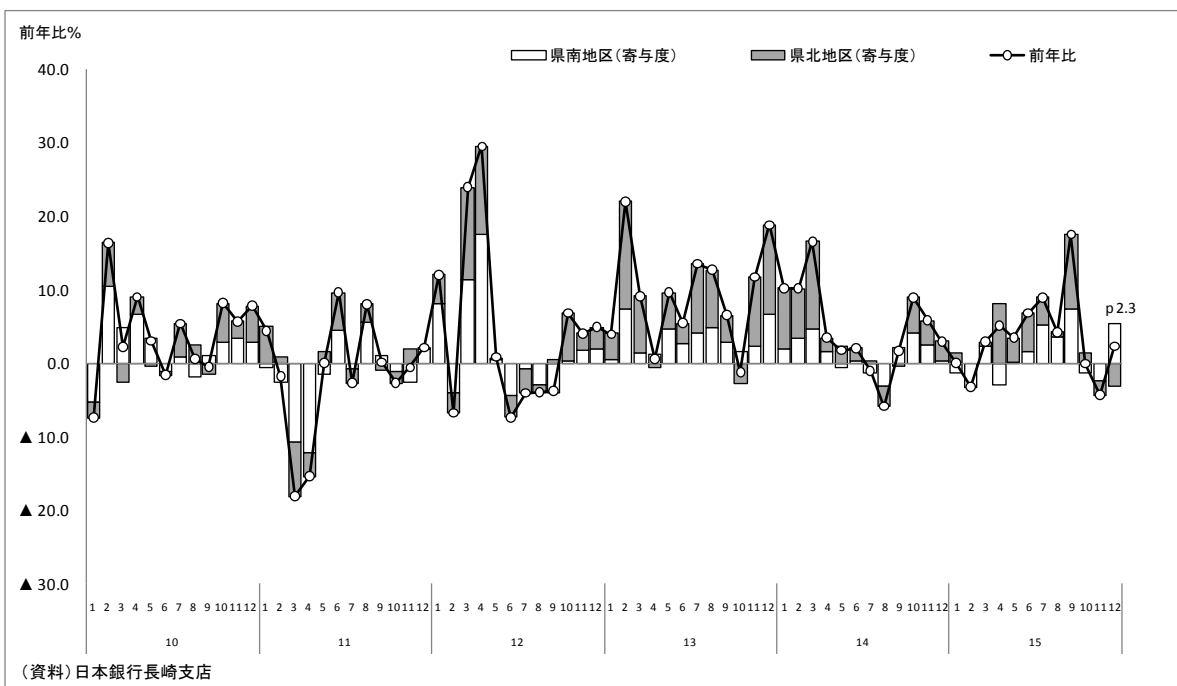
主要観光施設入場者数(12月)および主要ホテル・旅館宿泊者数(同)は、世界遺産登録効果に加え、国際クルーズ船の寄港増加、大型観光施設の集客施策の奏功等を背景に好調に推移している。

【県内主要観光施設入場者数】



(注) 集計対象先の見直しにより、14/4月以降の計数は14/3月以前とは不連続。

【県内主要ホテル・旅館宿泊者数】

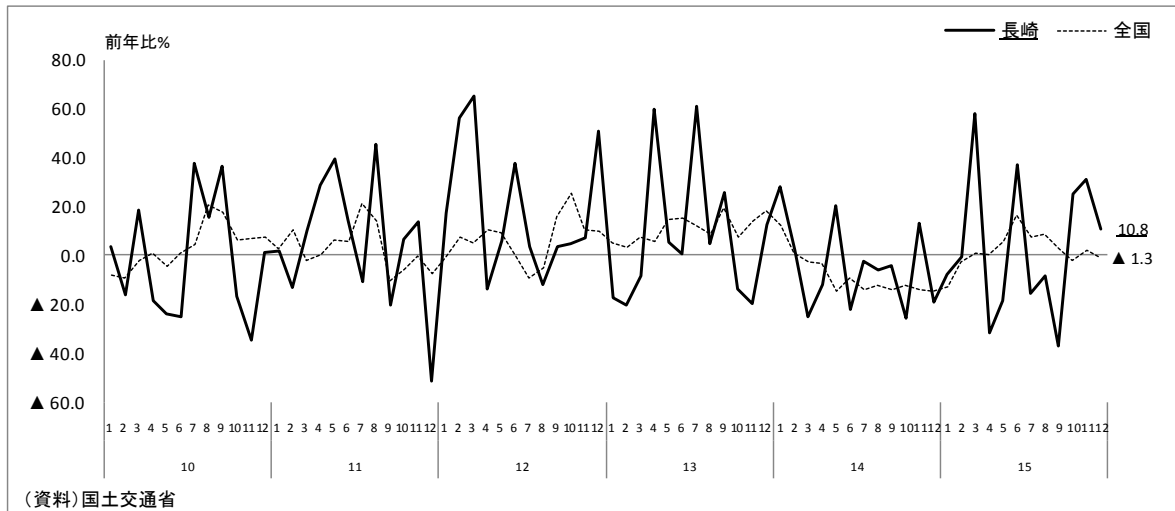


(3) 住宅投資

住宅投資は、持ち直しつつある。

新設住宅着工戸数(12月)は、持家、貸家を中心に増加した。

【新設住宅着工戸数】

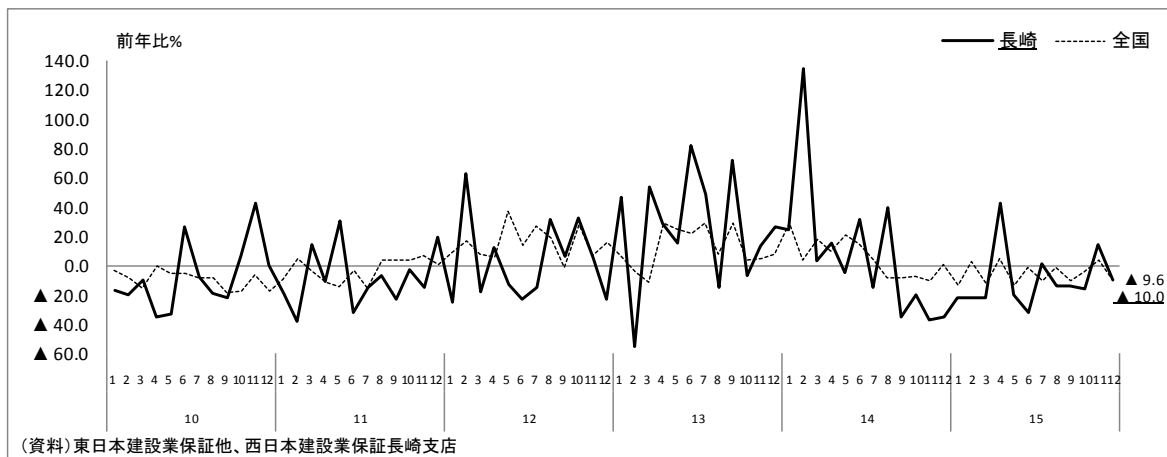


(4) 公共投資

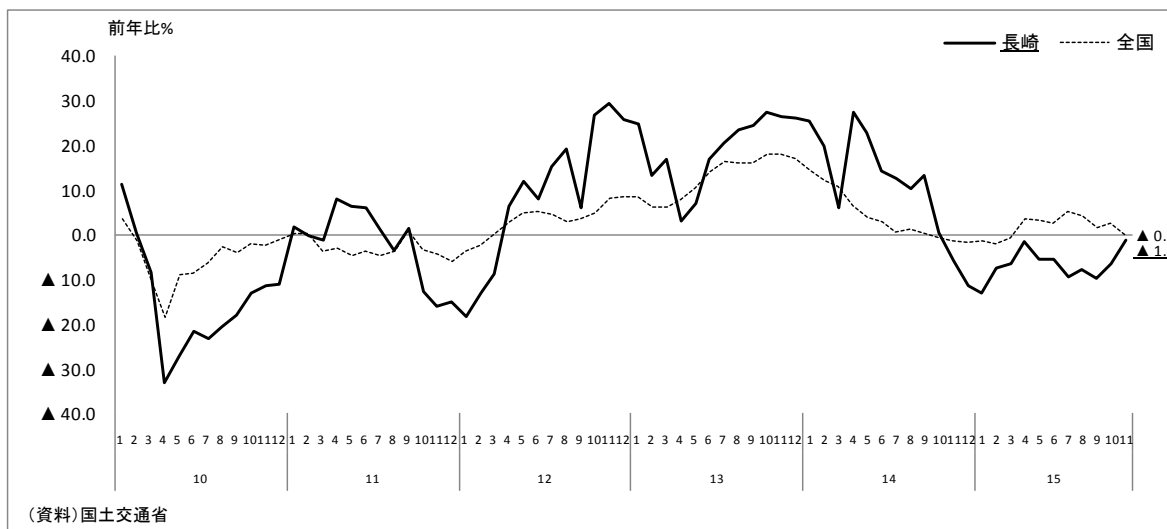
公共投資は、振れを伴いつつも弱い動きとなっている。

公共工事請負金額(12月)、建設工事出来高(11月)ともに減少した。

【公共工事請負金額】



【建設工事出来高】



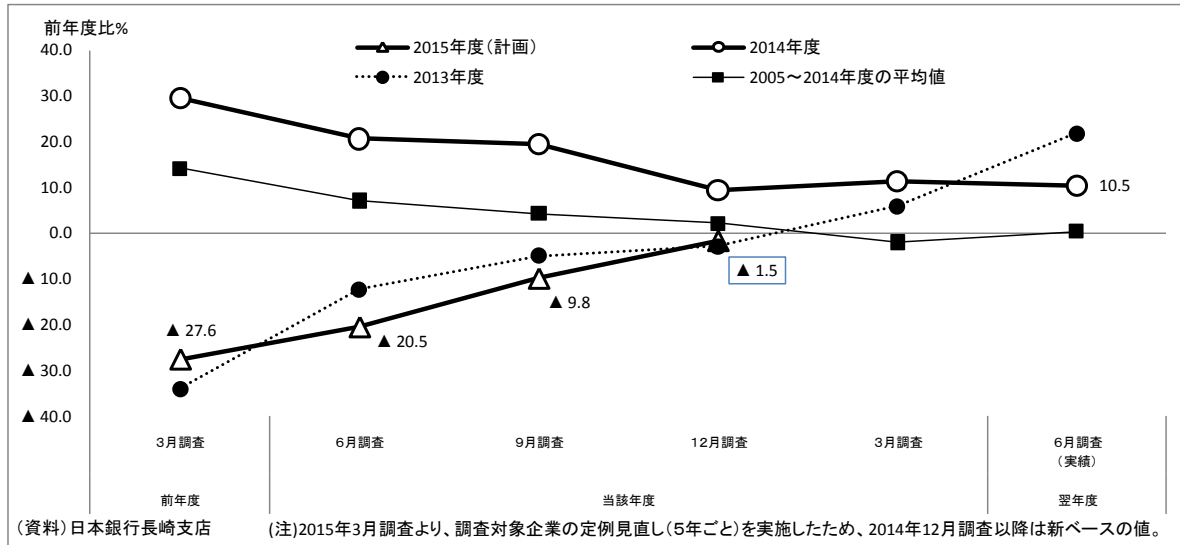
(5) 設備投資

増加している。

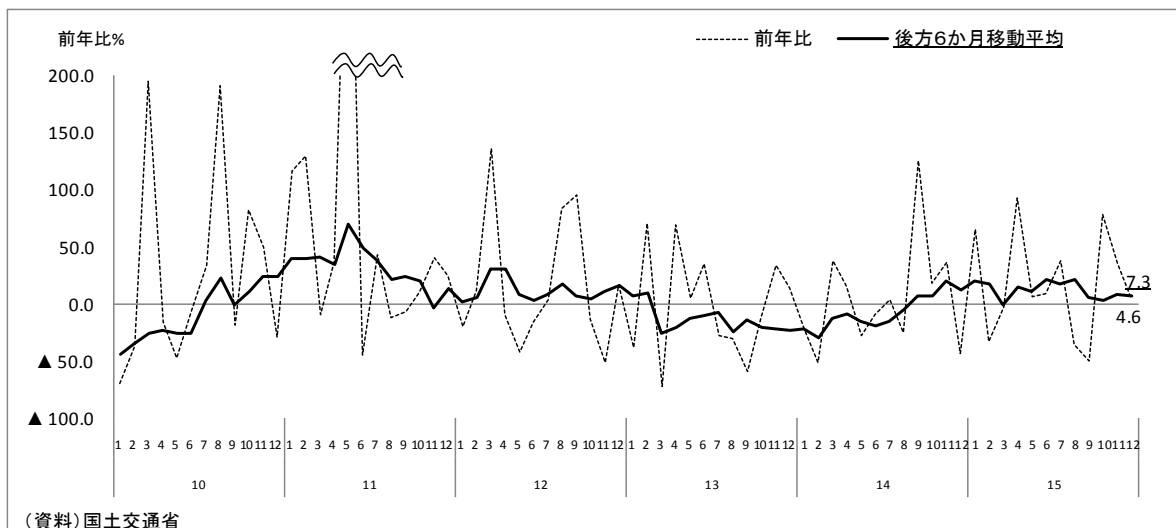
建築物着工床面積（12月、民間非居住用）は前年を上回った。

2015年12月短観をみると、2015年度の設備投資計画は、前年を下回る計画となっているものの、老朽化設備の更新や能力増強投資、新規出店等がみられ、前回調査（9月）比では、製造業を中心に上方修正となっている。

【短観（長崎県分）・設備投資額】



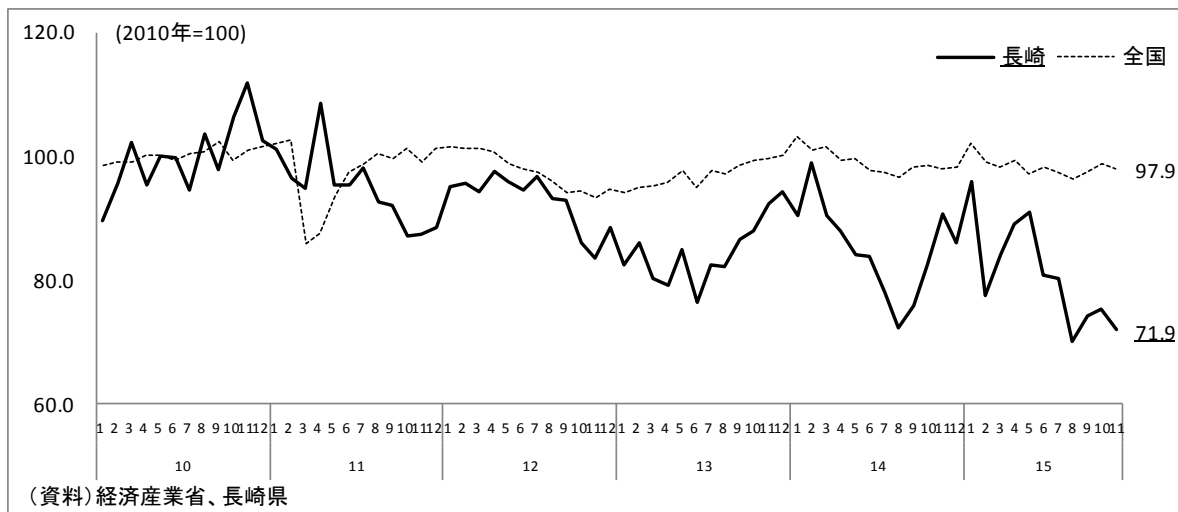
【建築物着工床面積（民間非居住用）】



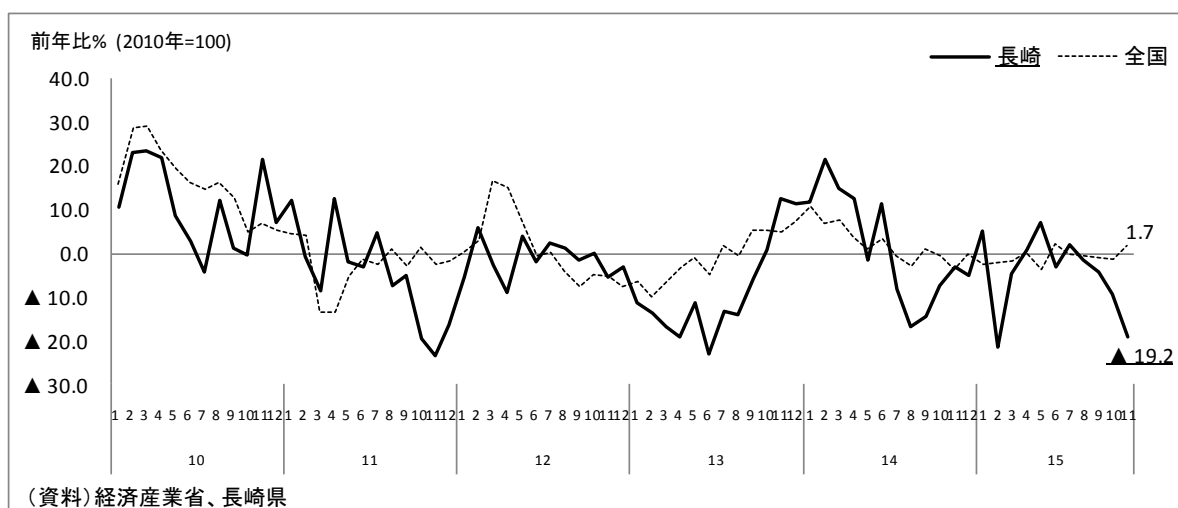
(6) 生産

全体として持ち直しているが、一部に弱めの動きがみられている。

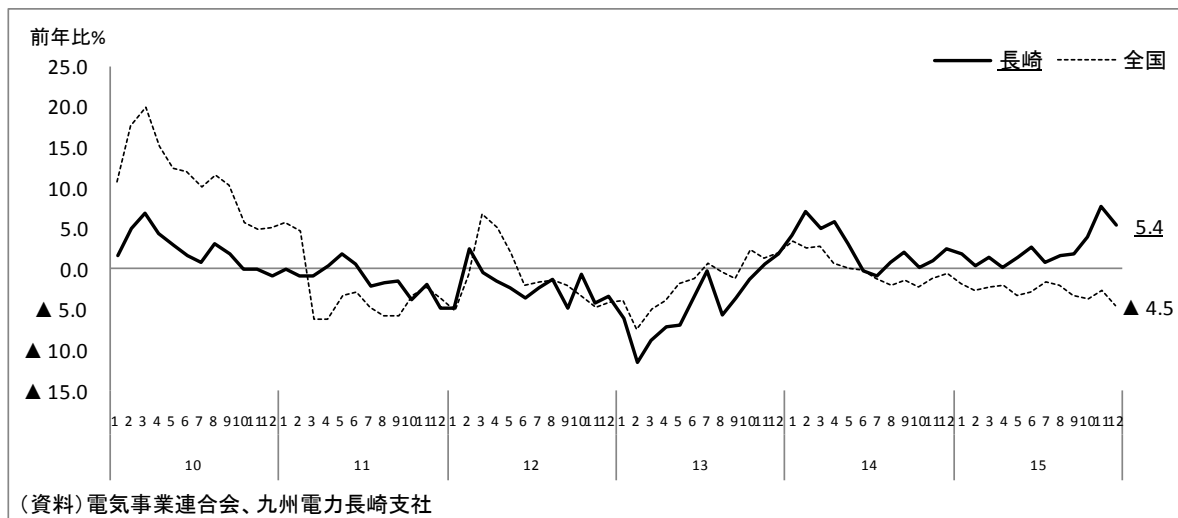
【鉱工業生産指数・季調済】



【鉱工業生産指数・原指数】



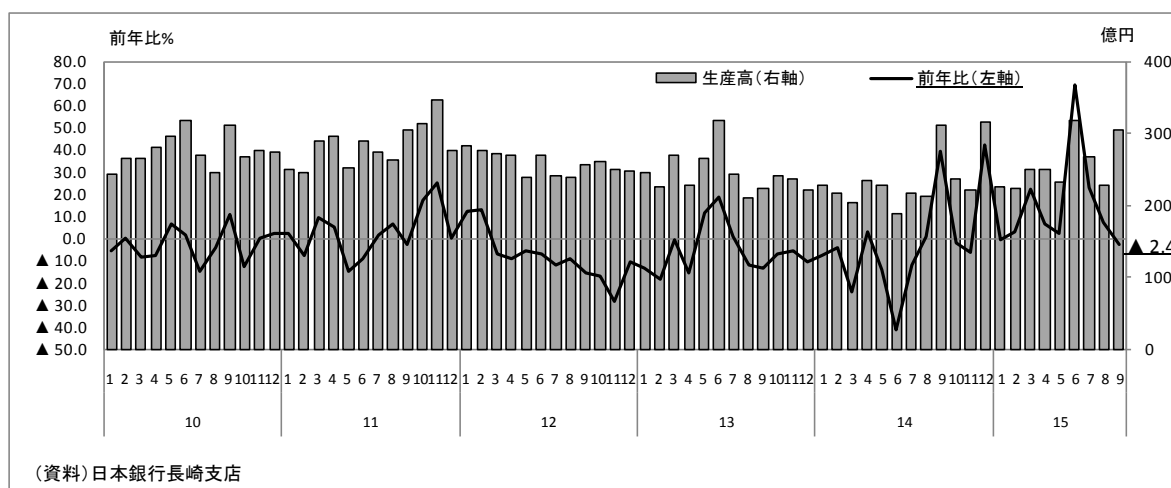
【大口電力消費量】



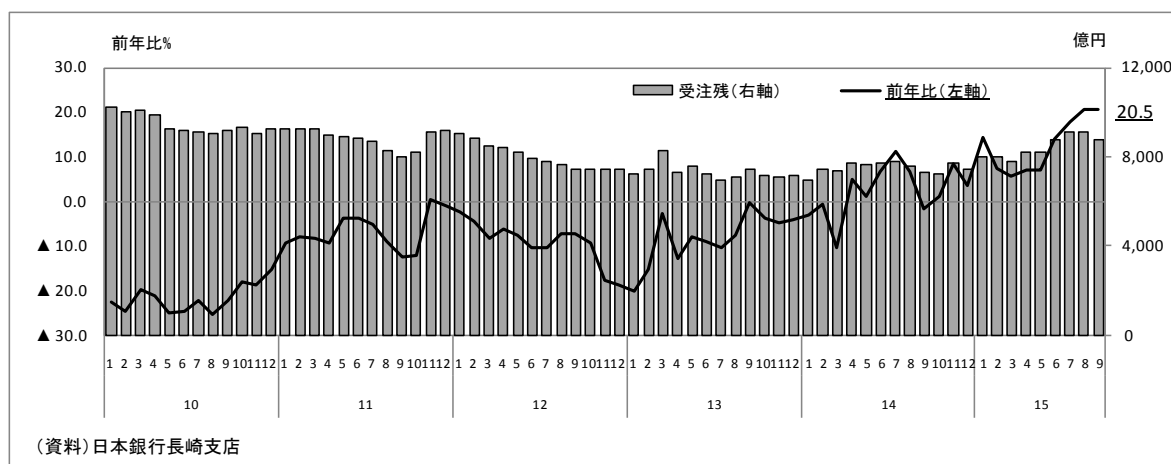
(業種別生産動向)

業種		生産動向
造船	大手・中堅造船	増加している。
	中小造船	更新需要等を背景に高水準の受注残となっており、高操業が続いている。
機械・重電	原動機	高水準横ばい圏内で推移している。
	大・中型モーター	生産水準は持ち直しつつある。
	冷熱機器	冷凍・空調機器が横ばい圏内で推移しているほか、車両冷房も持ち直していることから、全体でも生産水準は持ち直しつつある。
電子部品等		スマートフォン向けを中心に、弱含んでいる。
陶磁器		持ち直している。

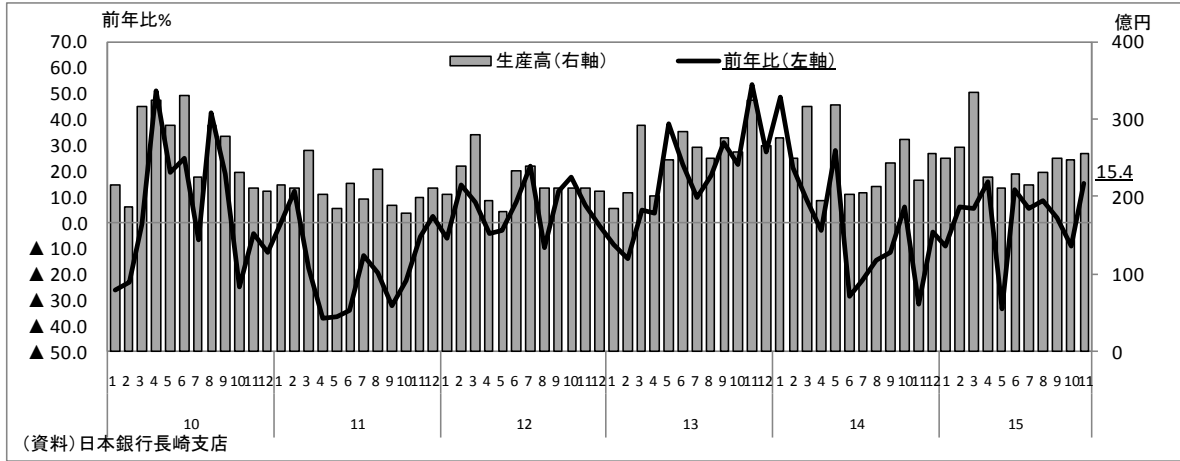
【造船生産高】



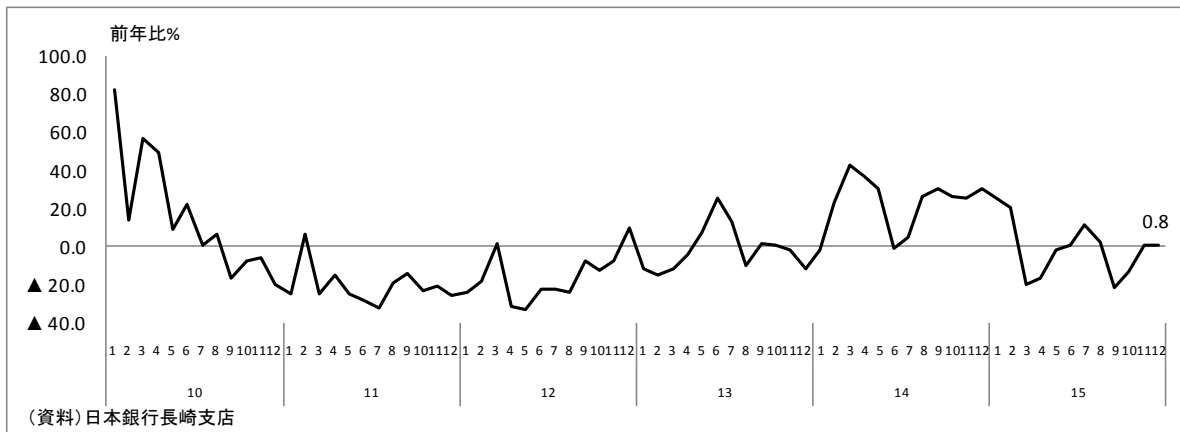
【造船月末受注残】



【機械・重電生産高】



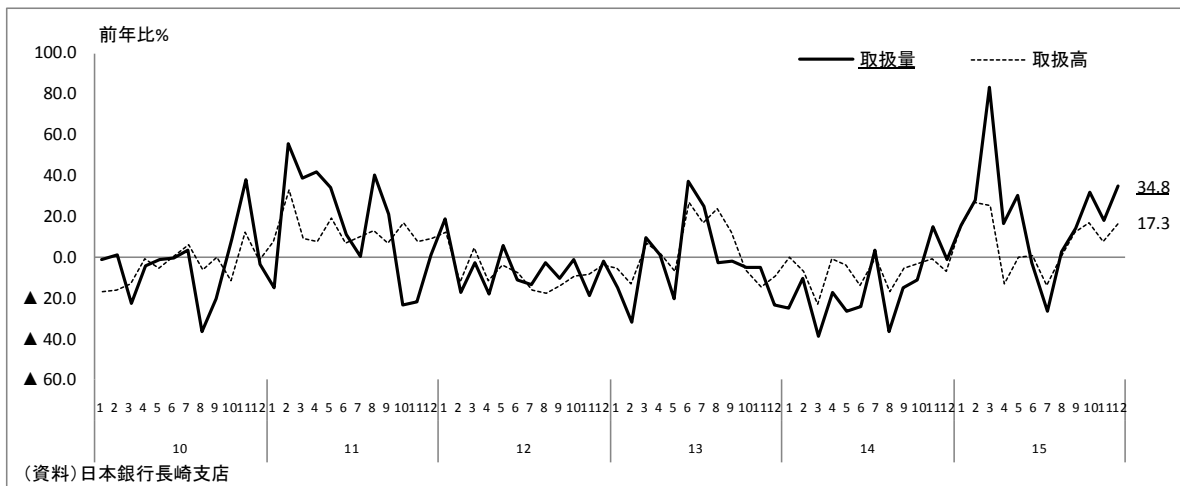
【電子部品等生産高】



(水産業)

県内主要魚市場の取扱いをみると、取扱量は趨勢的には減少傾向にあるものの、このところ堅調となっている。

【県内主要魚市場取扱量・取扱高】

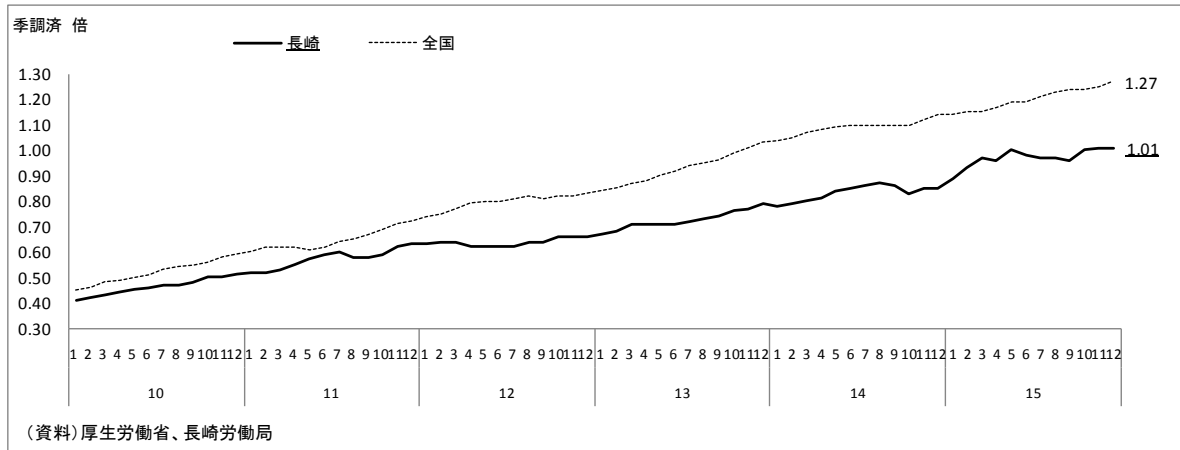


(7) 雇用・所得

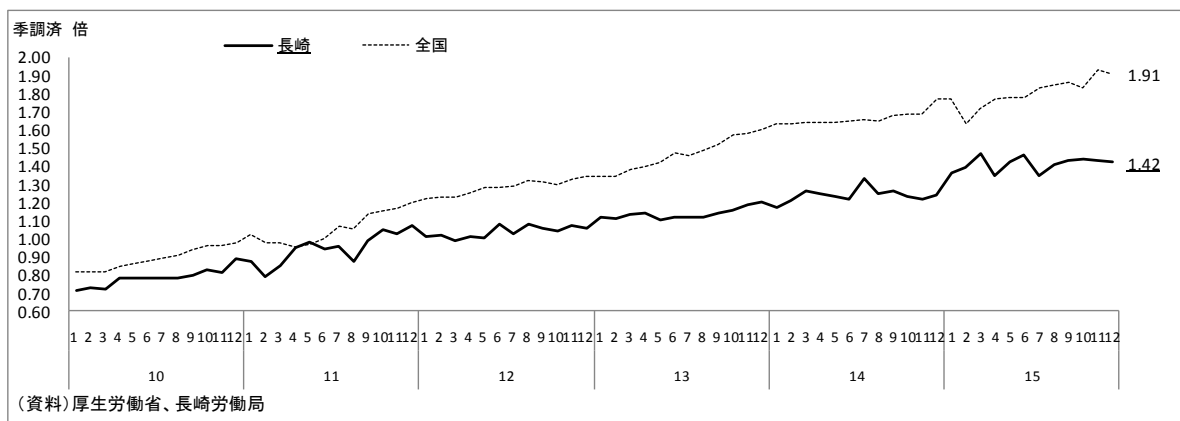
雇用・所得環境をみると、労働需給は緩やかな改善が続いており、人手不足感が強まっている。雇用者所得は持ち直している。

有効求人倍率（12月）は、1.01倍と1.0倍台で推移している。新規求人倍率（同）は、1.4倍台で推移している。名目賃金が前年比増加したことから、雇用者所得（11月）は増加した。

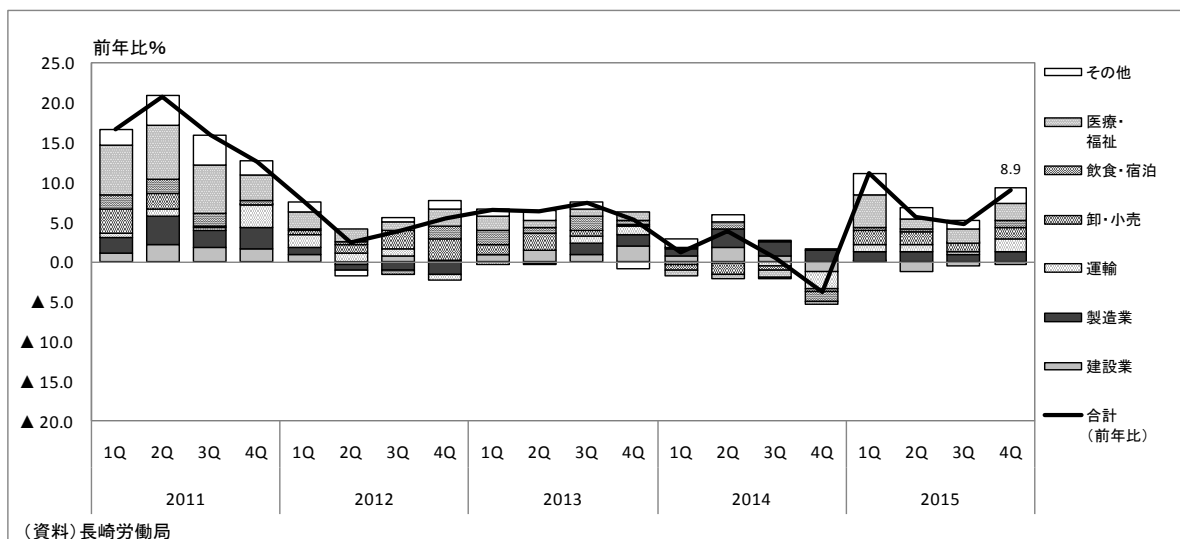
【有効求人倍率・季調済】



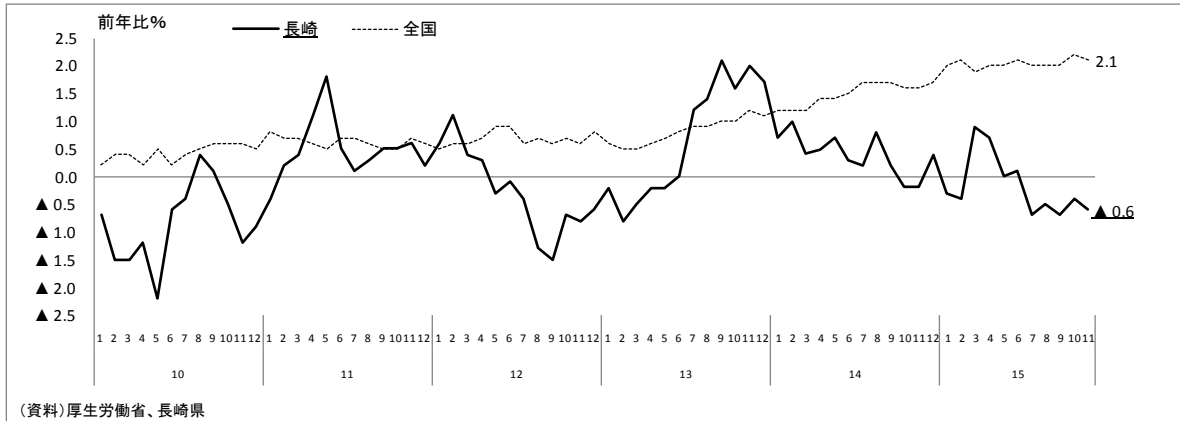
【新規求人倍率・季調済】



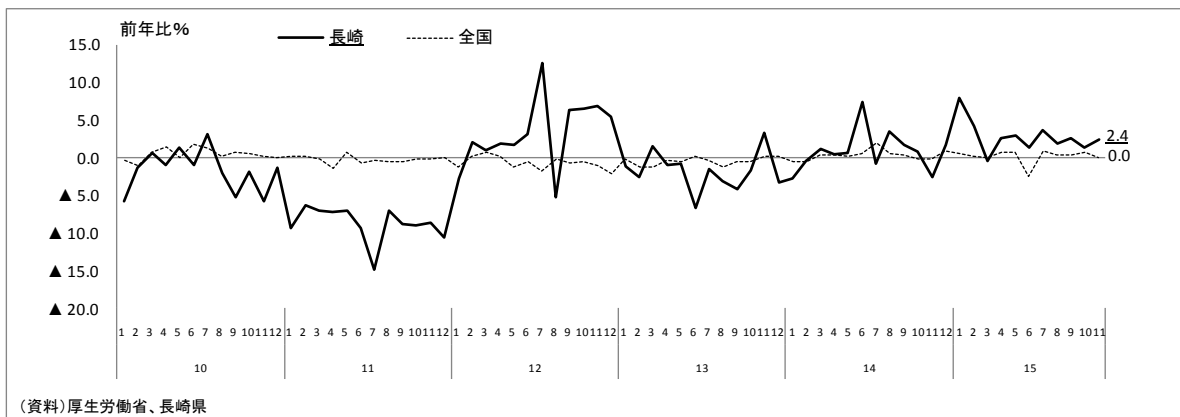
【新規求人（パート含む）の業種別寄与度】



【常用雇用指数】

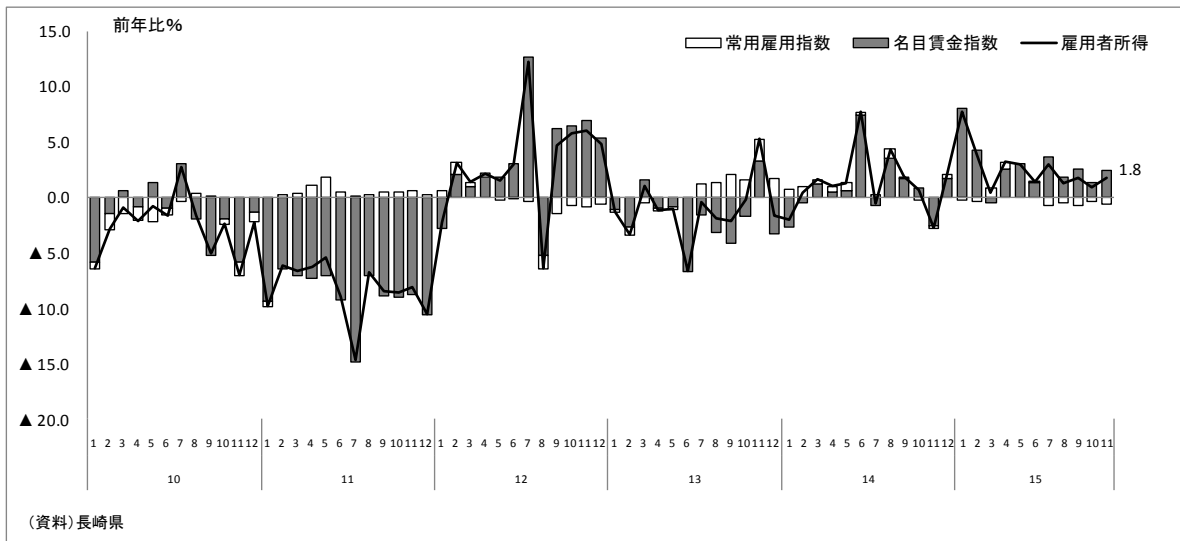


【一人当たり名目賃金】



(注) 一人当たり名目賃金は、毎月勤労統計調査の「名目賃金指数」。

【雇用者所得（常用雇用指数×名目賃金指数）】

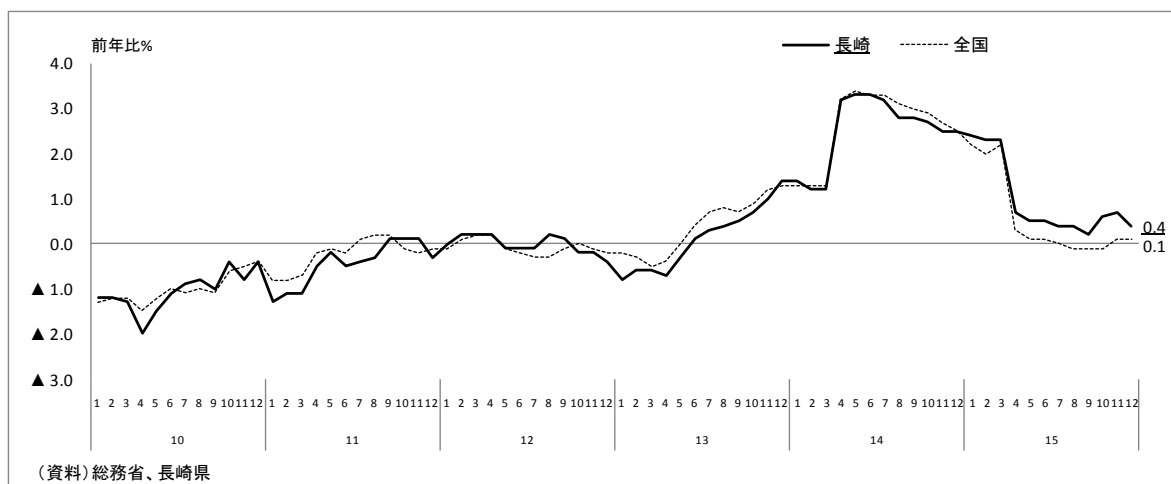


(注) 雇用者所得は、事業所規模5人以上の事業所における名目賃金指数と常用雇用指数を乗じて算出。

(8) 物価

消費者物価指数（12月、生鮮食品を除く総合、長崎市）は、前年比+0%台半ばで推移している。

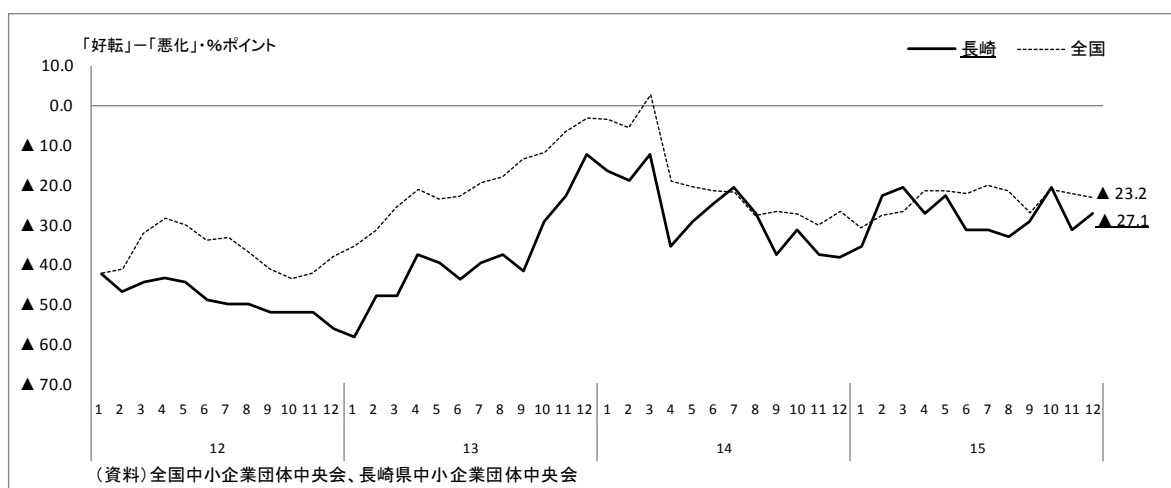
【消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）】



(9) 中小企業の動向

中小企業の景況感は、弱めの動きとなっている。

(参考)【中小企業の景況指数】



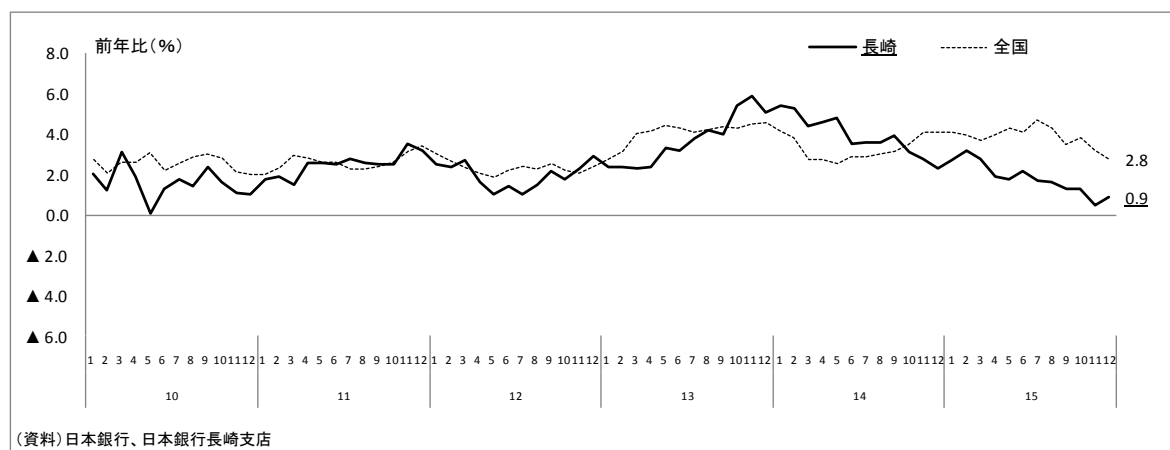
2. 金融事情

(1) 預貸金動向

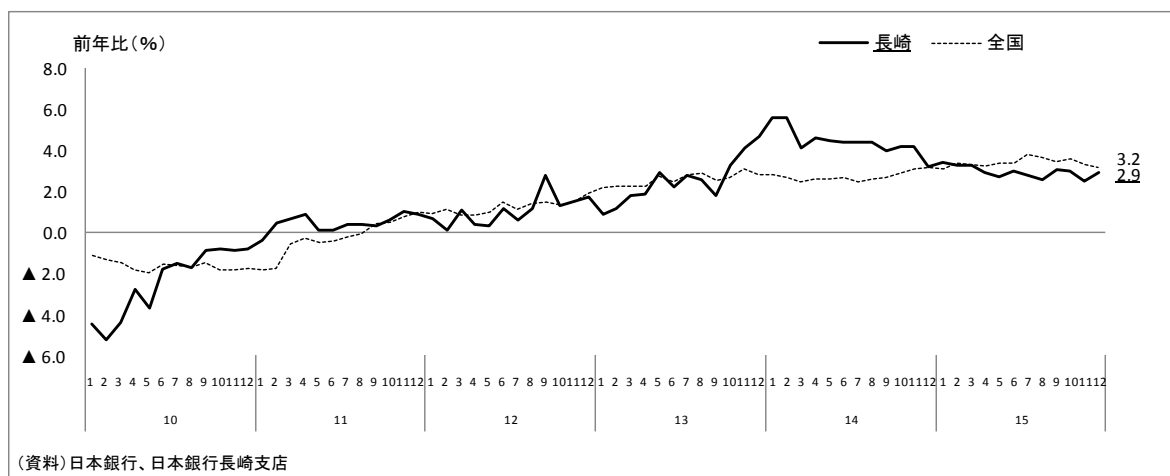
県内主要金融機関（県内所在店舗）の実質預金（12月、含む譲渡性預金）は、個人預金を中心に、前年比+1%程度で推移している。

県内主要金融機関（県内所在店舗）の貸出金（12月）は、法人向けや個人ローンを中心に、前年比+3%程度で推移している。

【実質預金＋譲渡性預金（末残）】



【貸出金（末残）】

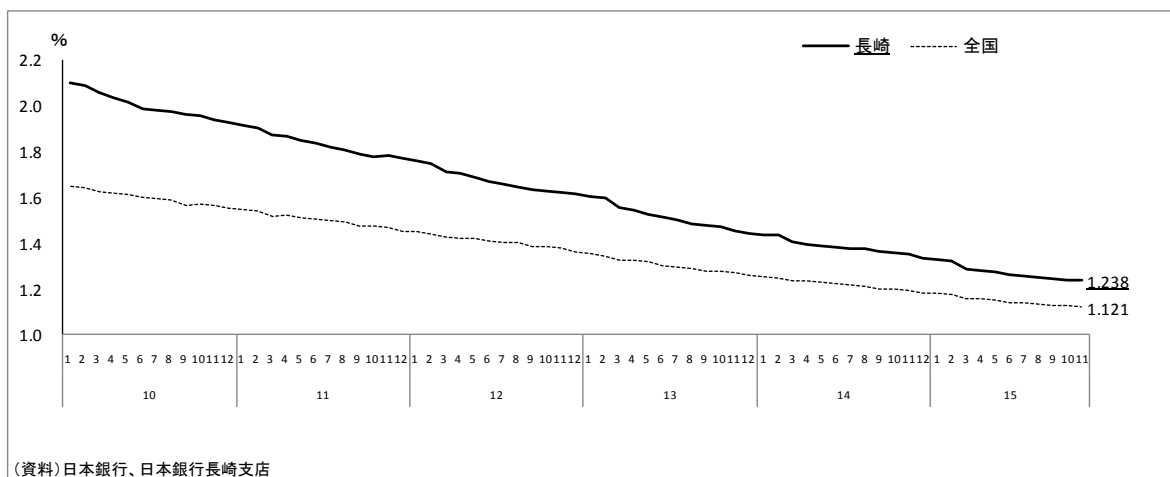


- (注)
- ・国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く<以下同じ>）および信用金庫の県内店舗（全国は、国内銀行のみ）。
 - ・銀行勘定を集計。ただし、国内銀行については、オフショア勘定を除く。
 - ・実質預金は、預金から切手手形を控除したもの。
 - ・貸出金については、中央政府向け貸出を除く。

(2) 金利動向

貸出約定平均金利（11月、ストック・総合、地元行ベース）は、緩やかな低下傾向にある。

【貸出約定平均金利（ストック・総合）】

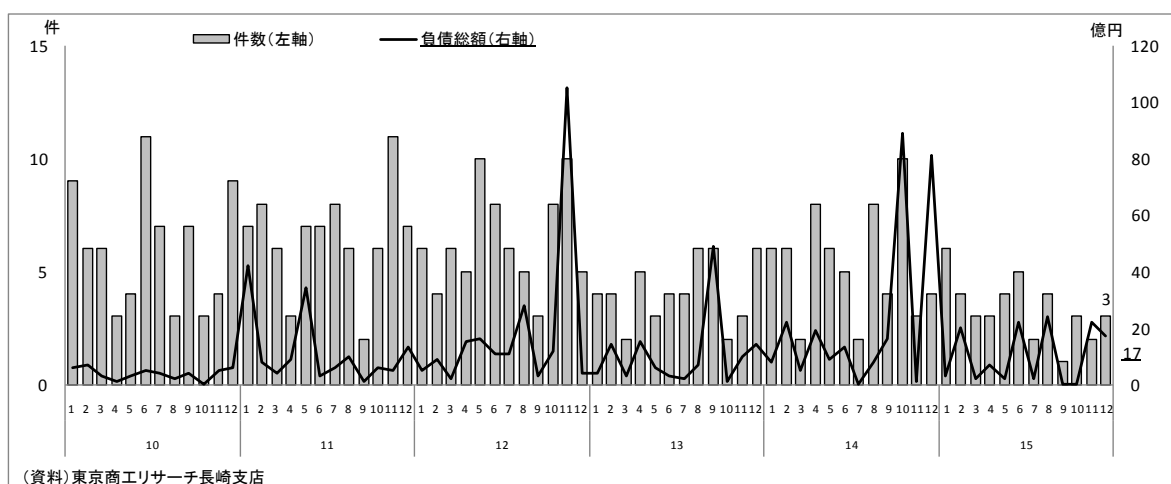


(注) ・国内銀行（ゆうちょ銀行等を除く。長崎は、県内に本店を置く国内銀行。）の貸出金利を貸出金残高で加重平均したもの。

(3) 倒産

県内企業倒産（12月、負債総額10百万円以上）は、落ち着いた動きが続いている。

【企業倒産（件数、負債総額）】



(注) ・負債総額は億円未満切り捨て。